

研究主題 「生きる力の育成」

～聞くこと・話すことの指導から,伝え合う力の育成～

I 主題設定の理由

「生きる力」の育成に関する本校教育課題は次の4点である。

- ①平素の学習活動や各種調査結果から家庭学習の習慣が確立されていない。
- ②幼少時から少人数集団の中で,互いに思いやり,助け合って学校や地域での生活を送るなど,思いやりの心をもった生徒が多い。しかし,互いのことをよく知っているがため,きちんと話す必要性が低く,自分の考えを表現する力が弱い。
- ③体育や健康安全に関する指導並びに部活動の充実により,たくましい心や身体をもち,生き生きと生活できる生徒の育成に努めたい。
- ④教職員と生徒の信頼関係をさらに強めるとともに,開かれた学校の実現を目指し,保護者や地域社会と協力して生徒の望ましい成長を支えていくようにさらに努力したい。

本校の学校課題を振り返ったとき,「生きる力」にある「確かな学力」の定着に関して,主に教育課題②「自分の考えを表現する力が弱い」に視点を当て,「聞くこと・話すことの指導から,伝え合う力」について理論研究と授業実践を行い「生きる力」を育成していきたい。

II 研究内容

(1) 授業実践について

- ①全教科に共通する「聞くこと・話すこと」または各教科の特性に応じた「聞くこと・話すこと」について指導主事や講師を招聘して理論研究を行う。
- ②一人一実践と全教職員参加の研究授業を行う。一人一実践や研究授業は,「聞くこと・話すこと」の視点で授業を行い,その効果について検証する。また,昨年度からの継続で学習会のような全校活動を行う。生徒へのアンケートを9月・2月の2回実施しする。

(2) 「学習の手引き」について

昨年度の「学習の手引き」を再検討して作成し,生徒・保護者に説明し,学習指導に活用する。また,教科の評価規準・評価基準についても再確認すると共に,評価についての生徒保護者向けの資料を生徒・保護者に開示する。

III 具体的研究内容

(1) 理論研究に基づいた一人一実践

- | | |
|--------------------------------------|------|
| 10月15日(水)3年数学「2次方程式」 | 筒井教諭 |
| 29日(水)3年社会「わたしたちの司法参加～裁判員制度について考える～」 | 前島教諭 |
| 11月7日(金)1年理科「身のまわりの物質とその性質」 | 益田教諭 |

- 1 2 日 (水) 1 年音楽「詩の内容と曲想の変化との関わりを感じよう」 富田教諭
 1 2 月 3 日 (水) 1 年家庭「食事の計画を立てよう」 石田教諭
 1 0 日 (水) 2 年体育「球技 ネット型 バレーボール」 藤澤教諭
 2 2 日 (月) 2 年英語「Unit6 The Story of an Old Clock」 奥田教諭
 1 月 1 6 日 (金) 全校学活「骨の健康について考えよう」 雨宮養護教諭
 2 1 日 (水) 1 年国語「木は旅が好き 茨木のり子」 鮎澤教諭

(2) 講師を招聘しての研修

7 月 9 日 (水) 「伝え合う力」を高める手立てとしての言語活動の充実

講師 峡東教育事務所 柴田幸也指導主事

8 月 2 2 日 (金) 「聴く・話す」は今

～コミュニケーションの変容と本質から考える～

講師 スクールカウンセラー 高橋洋文先生

9 月 2 4 日 (水) 集団を通して、子どもたちの人間関係能力をどのように

育成すればよいのか ～教師のリーダーシップとは～

講師 スクールカウンセラー 長尾雅裕先生

1 1 月 7 日 (金) 理科授業研究会

講師 峡東教育事務所 柴田幸也指導主事

(3) 甲州市「確かな学力」育成プロジェクトと関連して

Q-U検査の詳細な分析を行い、全体で確認し合い、学級づくり・集団づくりに生かした。また、小規模校の集団での学び合いの1つとして、定期テスト前の放課後に全校生徒による一斉授業を行った。

IV 成果と課題

(1) 成果

- ・一人一実践の授業をお互い提供、観察し合うことで、新たな視点で自分の教科の授業への改善点を見ることができた。
- ・「聞くスキル・話すスキル」について、全校学活を実施して共有化（掲示物も含め）して、その実現に向けて取り組むことができた。行動にはまだ十分な成果として現れてなくても、意識されるようになってきている。

(2) 課題

- ・個に応じた指導はどうあるべきか、家庭学習と授業や評価との関連など、具体的に組みたい。
- ・教師側の指導技術として、各教科でどの単元でどのように言語活動を仕組むのかについて更に研究を深めていきたい。

V 成果物

「1 学年理科学習指導案」「平成 2 6 年度 大和中学習の手引き」

(研究主任 奥田真由美)